

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEIKO PLUS 富里			
○保護者評価実施期間	2026年1月6日 ～ 2026年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数)	43
○従業者評価実施期間	2026年1月6日 ～ 2026年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各々の成長に寄り添った個別の学び支援	専用の個別指導室にて、一人ひとりの課題に沿った学習支援を提供します。学校や家庭での悩みをご本人・保護者様から丁寧に聞き取り、指導員と一緒に解決策を検討。それを小集団活動の場で実践し、自力で解決する力を養います。また、学習の躓きに対しては、認知機能や運動面など多角的な視点からアプローチし、根本的な改善を目指して支援いたします	支援の充実を目指し、お子様の行動や発達を正しく理解する視点を磨く研修会を継続します。ご本人に寄り添った個別の支援計画に基づき、学びの意欲を引き出す最適な学習内容を届けていきます。
2	集団での学習や運動を介した 対人スキルの向上	集団内での対人関係や行動に不安を抱える利用者様に対し、2～5名の小集団による段階的な交流の場を設けて支援しています。特に学習支援では、遊びを通じた双方向のやり取りを重視。楽しみながら自然なコミュニケーションを促し、ルールや約束を守る経験を積み重ねることで、社会性の向上を後押しします。	円滑な集団参加を目指し、個々のスキル向上と的確な評価を行う事例検討・研修を推進します。小集団での対人能力を養うため、活動カリキュラムの質をより一層高め、一人ひとりに最適な交流の場を創出していきます。
3	幅広い年齢層との関わりで育む コミュニケーションの支援	同時間帯には幅広い年齢層のお子様が行われているため、未就学児との交流機会を積極的に設けています。その中で、年下の子に対する適切な声掛けや接し方を自ら考え、実践できるよう支援。異年齢との関わりを通じて、相手を思いやる対人スキルや柔軟な対応力の育成を後押ししています。	多様な世代との関わりで育む社会性の支援を深めるべく、専門性を高める学びの場や交流活動の質をより一層高めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親御様同士がつながる場の不足	保護者交流の場として『父母会』を行っています。提供時間内での開催という制約もあり、実施回数が十分に確保できていない現状にありますが、質を高めて支援して参ります。	堅苦しい会議形式ではなく、自由に参加できる開放日を設け、保護者様同士が自然に対話できる機会を検討中です。気軽にお立ち寄りいただける環境作りを現在進めております。
2	地域社会との繋がりが希薄な状況	施設内での支援カリキュラムを優先しているため、地域行事への参加まで手が回っておらず、交流機会が少ないのが現状です。外部との接点を増やす工夫を今後検討して参ります。	今後、保護者様のご要望に応じて、地域行事への参加や近隣住民との交流機会を増やすなど、積極的な社会貢献活動を推進して参ります。
3			